

# 平成23年度 学 校 経 営 計 画

## 1 学校教育目標

建学の精神である「親鸞聖人のみ教えをもとに宗教的信念に目覚めた青年を育成する」を基調とし、知性と教養を磨き、豊かな情操を涵養して相互敬愛に基づく平和な社会の形成に寄与する人間を育成する。

## 2 学校の特徴

本校は浄土真宗本願寺派の宗門校であり、建学の精神の具現化として宗教教育に関する科目の学びや宗教行事への参加を通して、思いやりと感謝のこころを持った情操豊かな人間を育てている。

普通科と専門学科調理科の2学科を編制し、普通科には特進コースⅠ類・特進コースⅡ類・総合コースがある。

特進コースⅠ類は国公立大学や私立難関大学合格を目標に、自ら考える授業を充実し、徹底した個別指導による学習を行っている。

特進コースⅡ類は小論文やプレゼンテーションで自分を表現する力を磨く「アドバンス」と学習と部活動の両立で自分を鍛え上げる「ベーシック」に分かれて志望校合格を目指している。

総合コースは二年次から、芸術系、情報系、進学系、教養系の4つの系統に分かれて学習する。それぞれの系統には特色ある科目が設定され、生徒の興味関心を喚起し個性を伸ばすことにより個々の進路決定に大きな役割を果たしている。

調理科は、厚生労働省より指定された全日制高校では県内唯一の調理師養成施設でもあり、卒業時には調理師免許が取得できる学科である。

部活動は13の運動部、13の文化部および6つの同好会がある。全国大会に出場する部をはじめ、特技・趣味を活かし友好を深める部などそれぞれが目標を持ち充実した活動をしている。また、生徒会活動でも校内のみならず地域社会と連携した活躍を見せている。

## 3 学校の現状と課題

確かな学力と生きる力の育成を目指し、少人数クラス編制を採用するとともに「人間学」の授業や宗教行事、こころの教育を実践している。一方で、個々の生徒の生活様式、学習環境が多様であるため、知的教養・学習意欲・生活規律等の面で格差が生じ、的確な対応が充分になされていない面がある。

今年度の重点課題は、一人ひとりの生徒の成長に応じた指導と自己実現支援する有効な対策を講じる必要がある。教育相談を通して個々の生徒に対応するとともに、全校教職員が一体となって学校全体のレベルアップを図ることである。

#### 4 学校教育計画

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
(1)	学習指導	目標	生徒自らが意欲をもって学習に取り組み、問題を解決する主体的学習態度を育成する。
	重点1	計画	<p>①基礎学力定着のために、学習習慣を確立させ、学習活動の充実を図る。</p> <p>○学習意欲を引き出すために、生徒の学習実態を調査し、授業や学習課題を工夫する。</p> <p>○互見公開授業を実施し、互いに研鑽を深め、教員の指導力を向上させる。</p> <p>○「コミュニケーション」、「人間学」など特色ある科目の内容をさらに研究して学習意欲の増大を図る。</p>
(2)	生徒指導	目標	自主自律の基本的生活習慣の確立と自己管理能力の育成を図る。
	重点2	計画	<p>②制服を正しく着こなす意識をもつとともに時間を守って行動するよう自己管理能力を育成する。</p> <p>○校門で登校指導を実施し、元気な声で挨拶する習慣作りや朝から規則正しい生活リズムを身に付けさせ、充実した高校生活を送らせる。</p> <p>○教員と生徒が連携し、学校周辺の巡回を行い、登下校の安全について呼びかける。</p> <p>○教育相談を通して、一人ひとりの課題を見つめ、自立支援に向けて理解を深める。</p>
(3)	進路指導	目標	生徒が自らの将来に向かって、自己の興味と適性を十分に生かした進路を選択し、難関大学合格者数の増加、4年制大学合格者数の増加、4年連続就職内定率100%を達成させるような確かな進路指導を行う。
		計画	<p>○特進コース、総合コース、調理科、それぞれの科・コースの特色に応じて、一人ひとりの生徒の適性・希望等に沿った進路指導を行う。</p> <p>○1年次から計画的な進路指導に努め、1学年では高校教育の目標と意義を理解させ、将来の夢や希望を考えさせる。2学年では、進路実現のための学習計画を具体化し、3学年では、適切な進路選択を支援する。</p> <p>○きめ細やかな面接指導や進路講座を実施し、生徒の進学、就職の希望に基づき進路を決定させる。</p>

項 目		目 標 ・ 方 針 及 び 計 画	
(4)	特別活動	目標	部活動の加入率を高めるとともに活性化を図り、全国大会、北信越大会に出場する部を増やし、入賞させる。どの部においても活動実績を上げ、満足感を味わわせる。また、生徒会行事等をととして主体性を育成し、伝統ある校風作りに努める。
		計画	○面接、オリエンテーション、体験入部などを通して部活動加入を勧め、加入率を高める。 ○学校行事、生徒会活動への積極的参加を呼びかける。 ○修学旅行を通し、知識・見分を広げるとともに、集団生活における責任と役割を認識させる。
(5)	保健厚生	目標	清掃を徹底し、校内環境の美化に努める。
	重点3	計画	<u>③学習環境への関心を高め、自分達の生活環境は自分で美化するという意識と責任感を育てる。</u> ○保健委員を中心に清掃を徹底させる。 ○担任や清掃場所担当者が協力し、清掃時間の指導を徹底する。
(6)	その他	目標	1 自主自律の心や他を思いやる心を育てる。 2 広い視野を持ち、考えて行動できるようにする。 3 保護者、地域、中学校に本校の教育活動を理解してもらい、連携を図る。
	重点4	計画	<u>④朝の読書を通し、視野を広め思考力を深める。</u> ○建学の精神に基づく教職員研修を実施する。 ○総合的な学習「人間学」を通し、豊かな人間性を育成する。 ○朝のおつとめや朝の礼拝、宗教行事などを通し、生命を尊ぶ敬虔な情操や他を尊ぶ心を育む。 ○中学校との連携を密にし、要望や意見を交換して、相互理解を深める。 ○育友会会報やホームページなどの広報活動を推進し、本校教育に対する理解と協力を求め、多くの生徒が入学してくれるように努力する。